1967 ～ 1968

向笠ガバナー公式訪問報告書

鹿児島西ロータリークラブ

1967. 10. 11

1967 ― 68年度目標

ロータリアンとしての
あなたの資格を
効果的に

o ロータリーの活動に自ら進んで参加すること。

oあなたの職業に成功を収めることにより指導力を発揮すること。

oあなたの地域社会や国家に対し忠誠を捧げ，あらゆる機会に奉仕すること。

o他国の人々の問題によく通じ，これが理解を深めること。

ルーサーH. ホッジスR. I会長

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し，特に次の事項を奨励育成するにある。

1. 奉仕の一つの機会として，知り合いを拡めていくこと。
2. 職業上の高き道徳的基準；総ての有用な職業の価値あることの認識；そして社会に奉仕する好機としての各自の業務を各ロータリアンにより権威あらしめること。
3. 各ロータリアンは，その個人生活，職業生活，社会生活の別なく，常に之れに「奉仕の理想」を適用すること。
4. 「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によつて，国際間の理解と友情と平和とを促進すること。

目　　　次

クラブアッセンブリープログラム ………… 1頁
役員並びに委員名簿 ………… 2
会長報告 ………… 3
概況報告 ………… 4
会計報告 ………… 5
クラブサービス報告 ………… 5
出席奨励委員会報告 ………… 6
職業分類委員会報告 ………… 9
会員選考委員会報告 ………… 9
プログラム委員会報告 ………… 10
広報委員会報告 ………… 11
親睦委員会報告 ………… 12
ロータリー情報委員会報告 ………… 13
会報，雑誌委員会報告 ………… 14
S.A.A報告 ………… 14
職業奉仕委員会報告 ………… 15
社会奉仕委員会報告 ………… 15
青少年奉仕委員会報告 ………… 16
国際奉仕委員会報告 ………… 17

附　　表

昭和42年度予算書
会員名簿
職業分類一覧表（別紙）

クラブアツセンブリープログラム

1967・10・11

於　鶴　鳴　館

19:00~19:01	開会の辞	副会長	鮫島志芽太
19:01~19:04	ロータリーソング（奉仕の理想）斉唱		
19:04~19:10	歓迎の辞及びガバナー．分区代理紹介	会長	島津忠丸
19:10~19:15	ガバナー挨拶	ガバナー	向笠広次
19:15~19:25	会員自己紹介		
19:25~	会長報告	会長	島津忠丸
	概況報告	幹事	安楽慶一郎
	会計報告	会計	西郷隆永
	クラブサービス報告	会務担当	藤安辰造
	出席奨励委員会報告	委員長	岡山栄
	職業分類委員会報告	〃	光吉正昭
	会員選考委員会報告	〃	塘一郎
	プログラム委員会報告	〃	町田久敬
	広報委員会報告	〃	岩田太一
	親睦委員会報告	〃	岩元正二
	ロータリー情報委員会報告	〃	栗川久雄
	会報・雑誌委員会報告	〃	久保田彦穂
	S.A.A報告	S.A.A	髙田光義
	職業奉仕委員会報告	委員長	久保政次
	社会奉仕委員会報告	〃	佐伯延次郎
	青少年奉仕委員会報告	〃	髙井敏治
	国際奉仕委員会報告	〃	福田敏之
	講評	ガバナー	向笠広次
21:00	閉会の辞	幹事	安楽慶一郎
	ロータリーソング（手に手つないで）斉唱		

役員・委員名簿

1967－7～1968－6

会長（理事）	島津忠丸
副会長（〃）	鮫島志芽太
幹事	安楽慶一郎
副幹事	柴山一雄
理事	藤安辰造
〃	久保政次
〃	佐伯延次郎
〃	高井敏治
〃	福田敏之
会計	西郷隆永
S.A.A	高田光義
副S.A.A	伊東則生

会務担当　藤安辰造

出席奨励	◎岡山栄	○川路清高・河井時義
職業分類	◎光吉正昭	○桜美四郎・服部満江
会員選考	◎塘一郎	○岡元健一郎・土橋英夫
プログラム	◎町田久敬	○新福栄熊・飛岡俊夫
広報	◎岩田太一	○牧田健二・光安善雄
親睦	◎岩元正二	○小山幸義・米倉秀雄・神山光政
ロータリー情報	◎栗川久雄	○衛藤右三郎・倉園清市
会報・雑誌	◎久保田彦穂	○川村洋・林幸光
職業奉仕	◎久保政次	○田平礼章・徳田基・岩元健吉
社会奉仕	◎佐伯延次郎	○名越時秀・黒木長太郎
青少年奉仕	◎高井敏治	○幸泉芳良・堀川昇
国際奉仕	◎福田敏之	○浜田響・春山ジャステン

◎－委員長　○－副委員長

会　長　報　告

会長　島　津　忠　丸

本日は向笠ガバナー，桜美分区代理の御臨席のもとに当クラブのアッセンブリーを開き，クラブの運営の近況を御報告申上げますと共に，将来の諸計画に就いて会員諸君と共々討議致す機会を得ました事を光栄に存じます。

歴代会長の御努力に依りまして，当クラブも着々と基礎を固め，本年は丁度五周年を迎えるに至りました。本年度のクラブ運営の方針も，この偉大な業績を踏襲しつゝ，先づ会員相互の友愛と信頼の上にたつて和を深め，和気藹々たる中に団結を固め，ロータリー活動の活発化，奉仕の理想の実現を目標としております。

本年度もすでに其の四分の一を経過して，クラブの運営もようやく軌道にのりはじめた段階にあると思います。折よく先般，リーダーシップフォーラムが開催され，この具体的な指導方針の下に，ホッジス会長の四大方針の達成を期するよう努力中であります。

当クラブの業績と致しましては，昨年６月，創立五周年記念行事の一環として新クラブ結成の議が起りまして以来，前会長のもとに鋭意準備を進めておりました処，本年６月２４日無事加治木仮ロータリークラブの結成を見るに至りました。この間設立に御協力下さいました吉村パストガバナー，それに前会長，幹事，土橋特別代表，拡大委員，会員，関係各位の御尽力に心から感謝申上げます。

本年度は加治木仮クラブが名実共に立派なクラブとして発展されますよう，お互の友情と理解を深め，奉仕の理想に一歩でも近づき度い所存であります。

又，当クラブの創立記念日は３月２３日でありますが，この日には創立五周年を記念しまして，意義ある記念日を迎えるよう，今から充分の準備を進める予定でおります。

全般的には以上の通りでありますが，細部については，各委員会からの報告によりまして，ここでは省略させていただきます。

概　況　報　告

幹事　安　楽　慶一郎

1. 創立年月日	昭和３８年３月２３日
2. 承認年月日	昭和３８年６月２７日
3. チャーターメンバー	２５名（内現会員　１６名）
4. 本年度頭初会員数	４６名
	入会者　１名　　退会者　１名
5. 現在会員数	正会員　４４名　　アディショナル正会員　１名
	シニア・アクチブ会員　１名　　計　４６名
6. 平均年令	５３.３才　　最高　８０才　　最低　３４才
	３０才台　５名　　４０才台　１１名
	５０才台　１９名　　６０才台　９名
	７０才台　１名　　８０才台　１名
7. 出席率	９９.２０％　（４１.９〜４２.８）
8. 予算	本年から編成要領を改め，目的毎に区分した。事務的にはやゝ繁雑であるが，各委員会は活動に伴う予算を把握し易くなつた。クラブ外に対する奉仕活動予算（拡大事業を含めて３３.６万）がクラブ全体の予算に占める割合は１１.５％であるが，５周年行事もあり止むを得ないと考えている。 予算の内容は末尾のとおりである。
9. 入会金	１５,０００円
10. 年会費	４０,０００円
11. ビジター会費	３５０円
12. 会報	週報　　毎週発行
	会報　　年２回発行予定
13. ロータリアン誌	４名購読
14. クラブアッセンブリー	３回開催
15. クラブフォーラム	１回開催
16. 炉辺会合	委員会毎に１回開催
17. 理事会	定時理事会　　毎月第２週例会後開催
	臨事理事会　　必要に応じ適時開催

18. 県下R.C会長幹事会

大体3カ月毎に輪番で開催，お互いに意見の交換を行つたり，共同事業を協議し，これを実施している。

19. 創立5周年記念行事

本年は，当R.C創立5周年に当るので，記念行事を計画したい考であるが，今後具体化して行きたい。

会　計　報　告

会計　西　郷　隆　永

1. クラブの会費は，年額36,000円のところ，4,000円引上げ，40,000円とし，7月と1月の2期に分割徴収している。
2. 7月初旬に，理事会で年間の予算を樹て，予算外の支出については，理事会の承認を得た上で支出するようにしている。
3. 期末には監査を行い，会員に対し，会計の報告をしている。
4. ロータリー財団に対し，100%寄与している。
   米山記念奨学会に対しても，同様寄与している。
5. ニコニコ箱の収入は，従来雑収入に計上していたが，本年度より別に計上して明確にした。
6. 本年度予算は末尾の通り。

クラブサービス報告

会務担当　藤　安　辰　造

基本方針

クラブサービスは，ロータリアンの基本的事項を取扱い行う部門であつて，その基本的事項が立派に実施されてこそ，クラブ活動の向上が出来るのである。即ち，出席，職業分類，会員選考，プログラム，会報，雑誌，親睦，広報，ロータリー情報及びS．A．Aの各委員間の縦横の連絡を図り，各委員会の活動を活発にして，クラブ活動が円滑に行われるようにする。

業　績

1. 会務担当関係委員会を2回行つて，会務の促進を図つた。

2. 炉辺会合記録を作成して，全員に配布した。

計　画

1. 出席率は，今まで第３７０区年次大会で連続ベストテンに入つて表彰されていたが，本年度もより以上の向上につとめると共に，外部のロータリーの行事にも，積極的に参加するよう努めたい。
2. 例会におけるビジターが，年々増えているが，今後もビジターが来易いように努力すると共に，現在のクラブの明るい家庭的雰囲気を維持して行きたい。
3. 地域が非常に狭く，人材を得る事が困難であるが，出来るだけ入会者を増すように努めたい。
4. 一層，各委員会の活動を円滑にしたい。そのため，毎月一回各委員会毎の会合をし，その委員会の問題を，委員長会で取り上げ，必要な件を理事会に提案し，可決された事を実行して行きたい。
5. 各委員会で，年度初めに決めた活動方針の実行を促進したい。

出席奨励委員会報告

委員長　岡山　栄
委　員　川路清高
〃　河井時義

基本方針

「出席」なくして奉仕も友愛もあり得ない。

先づ例会に出席することが，我々の活動の前提条件であり，「欠席」は会員として恥づべきことであるとの認識を，特に新会員の方に強調する。更に「各種の会合への参加」と「ホームクラブへの出席率」を向上させるように努力したい。

業　績

出席率が昨年度は幾分低下の傾向を示したので，過去３回の年次大会において，連続して出席率ベストテンの表彰を受けた当クラブの名誉ある伝統を回復したいのが念願であるが，

1. 幸いに，新年度になつて現在まで，毎回１００％の出席率を示している。
2. 例会出席掲示板を，大きなものに取替えた。又，ホームクラブへの出席を「朱色」メークアップを「緑色」の線で色分けして，会員の関心を強め，見易いものに改めた。
3. 連続出席者に対する表彰，記念品の贈呈をつづけている。

計　画

1. 会員毎の出席率，並びにホームクラブへの出席割合を3カ月毎に集計した一覧表を作成，配布して意欲の向上を図る。
2. 過去における年次大会等に参加した各会員別の実績表を作成して，今後の各種会合への，積極的出席方について，会員の自覚と促進を期したい。

例会出席状況

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メークアップ	出席訂正率	ゲスト	ビジター
218	42. 7. 6	46	37	9	80.43	9	100	0	17
219	13	47	40	7	85.11	7	100	1	26
220	20	47	36	11	76.60	11	100	0	15
221	27	47	38	9	80.85	9	100	0	18
222	8. 3	47	35	12	74.47	12	100	6	22
223	10	47	29	18	61.70	18	100	1	17
224	17	47	38	9	81.63	9	100	1	28
225	24	47	32	15	68.09	15	100	1	29
226	31	47	36	11	76.60	11	100	3	20
227	9. 7	47	31	16	65.96	16	100	0	16
228	14	47	34	13	72.34	13	100	1	14
229	21	47	39	8	82.98	8	100	0	14
12回	計	563	425	138	906.76	138	1200	14	236
平均		47	35	11	75.56	11	100	1	20

月 別 出 席 率 表

年 月	出席率	地区順位
41. 9	99.47	12
10	98.40	16
11	100.00	1
12	99.15	14
42. 1	97.91	22
2	98.43	20
3	100.00	1
4	98.42	13
5	99.46	11
6	99.15	15
7	100.00	1
8	100.00	1

平 均 99.20%

職業分類委員会報告

委員長　光　吉　正　昭
委　員　桜　美　四　郎
〃　　服　部　満　江

基本方針

職業分類別一覧表を作成検討し，未充填部門があれば，会員選考委員会に積極的に働きかけ，新会員の充填を計りたいと思う。

尚，この一覧表は全会員に配布し，ロータリーの1業1人の原則の重要性，職業分類に対する認識を深めるようにしたい。

業　績

職業分類別一覧表の作成（旧）

計　画

1. 新職業分類一覧表を作成，配布する。
2. 委員会を開催し，会員の増強を積極的に働きかける。

会員選考委員会報告

委員長　塘　　　一　郎
委　員　岡　元　健一郎
〃　　土　橋　英　夫

基本方針

会員に推薦された人を，個人的な面から観察，調査し，その人の資格および職業的，社会的地位を評価し，その結果を理事会に報告する。

更に積極的にクラブの充填，未充填職業分類表を検討し，開放された職業分類を充填するよう適当な人を理事会に推薦する。

なお，会員の選考に当つては，特に情実を排し，厳正を旨とし，その人の人格に重点を置き，品性と出席可能性を重視する。

業　績

上記基本方針に則り，他の委員会，就中，職業分類委員会との連絡を密にして，新会員の獲得

に努力して来た。その結果，今年度1名だけは，優秀な新会員を入会させることができた。

計　画

理事会および職業分類委員会と連絡を密にし，クラブの地域限界内で，すぐれた新会員候補を発掘して行きたい。

なお，現在，新会員候補として，7名ほど見当をつけているが，今年度中には少なくとも，5名ぐらいの新会員を迎えるよう努力したい。

プログラム委員会報告

委員長　町田久敬
委　員　新福栄熊
〃　飛岡俊夫

基本方針

奉仕の精神に沿い，クラブの方針を織込んで，全員が喜んで聞くようなプログラム編成に努力する。内容は，バランスとバラエテイを保ち，品格，有益，親和感，ユーモアのあるものとする。

このため，クラブの役員，各委員長，会員と密接な連絡を保ち，卓話者の開発を図る。

業　績

鹿児島でも，来年は明治100年の記念行事が計画されているので，現在将来の展望をきかせながら，地域社会とも密接な連絡をとりつつ，卓話者の人選をしている。

計　画

1. 例会の卓話は，ゲスト50%，会員25%，映画25%とするも，会員の比率を高めるよう努力する。
2. 予定の例会より2カ月前より準備し，1カ月前に計画を確立する。
3. 卓話者の紹介は，プログラム委員が交替して行うを原則とする。

卓話の実績

月日	ゲスト卓話			会員卓話	
	題目	職業	氏名	題目	氏名
42. 7. 6				新会長幹事挨拶 新委員会活動方針発表	
13	火山と防災	桜島火山観測出張所長	吉川圭三		

月日	ゲスト卓話			会員卓話	
	題目	職業	氏名	題目	氏名
42. 7. 20				改正税法について	岡山栄
27				クラブフォーラム（青少年奉仕部門）	
8. 3	日本の印象	鹿大夏期講習に日本文化研修中	ロバート.ウェイガント ミセス.リード ミス.コートン		
10	内村鑑三先生の手紙	弁護士	松村仲之助		
17	石の話	水石会員	片岡八郎		
24	薩摩魂について	鹿工専教頭	若松大助		
31	シルク.ロードの遺跡について	鹿短大助教授	長沢和俊		
9. 7	（映画） アメリカの若い農家	鹿児島銀行提供			
14				リーダーシップフォラム出席報告	
21				観月家族会	
28				クラブアッセンブリー	

広報委員会報告

委員長　岩田太一
委　員　牧田健二
〃　　　光安善雄

基本方針

ロータリー精神と，クラブ活動の実体に対する一般世間の認識と理解を深めるため，下記の事項の実行に努める。

1. 本委員会には，特に報道関係会員及びロータリー情報，会報委員会の協力をお願いして，外に対しては，新聞，ラジオ等のマスコミ関係に働きかけ，内には，会員各自週報，ガバナースマンスリーレター，ロータリーの友を精読して，ロータリー活動状態を周知徹底してもらうように努める。

2. クラブ内各委員会と連絡を密にし，クラブの各種活動，行事等に関する広報資料の獲得に努めること。

3. クラブ内会合に，なるべく多くのゲストを招く事。

4. クラブ員各自のロータリー精神にもとづく生活と活動そのものが，最も大きな広報力である事に対する自覚を深めてもらうこと。

業　績

1. クラブの活動，行事に関し，マスコミ機関に報道資料を提供した。
度々新聞に報道された。

2. クラブ内各委員会と積極的に連絡した。

計　画

上記の基本方針を推進すると共に，本年は当クラブ創立五周年に当るので，その記念行事や，ロータリー賞受賞者選定等について，特にロータリー精神を強く打出すようなものとし，これらを地域社会の人々に充分理解してもらう為に，マスコミ関係の方々との座談会等も計画している。

親睦委員会報告

委員長　岩元正二
委　員　小山幸義
〃　米倉秀雄
〃　神山光政

基本方針

会員間の理解と友愛を深め，家族を中心とする親睦を目的とするよう努力する。

業　績

1. 毎月第一例会日に，その月の該当者に誕生祝，結婚祝を贈り，誕生者に対しては，全員でバースデーソングを唄つている。

2. 9月21日午后6時より磯公園において，恒例の観月野外パーテーを開催した。
（参加者　97名）

計　画

1. クリスマスパーテー，春のピクニックの家族会を計画している。

2. 会員を中心とするゴルフ会を開催，スポーツを通じて親睦をはかる。

3. クラブ対抗の諸種の行事には積極的に参加して，他のクラブとの親睦をはかりたい。

ロータリー情報委員会報告

委員長　栗　川　久　雄
委　員　衛　藤　右三郎
〃　　倉　園　清　市

基本方針

1. 新入会員がロータリーを理解し，ロータリアンとしての責務を自覚するように助言する。
2. ロータリーの歴史，綱領および活動状況に関する資料を会員に提供して，奉仕活動への意欲をかきたてる。

業　績

1. 新入会員には，入会前に面接して，標準定款の要点を説明するとともに，ロータリーを理解するための，有用な情報源となる各種文献の存在を説示している。
2. ロータリーを理解する情報源となる文献で，クラブに不足しているものを補充した。
3. 例会の卓話前に，簡単なロータリー情報を流している。
4. 歴代R.I会長の指針（ターゲット）を印刷して会員に配布し，反復学習に努めた。

計　画

1. 会長，幹事，その他の役員とつとめて密接な接触を保つとともに，ロータリー情報で必要なものがあれば，適切な文献を紹介することにつとめたい。
2. ロータリアン誌，その他の文献を渉読して，情報に関する記事を会員に紹介するようにしたい。その場合，情報が退屈なものとならないように工夫したい。
3. リーダーシップ・フォーラムで金モデレーターの示唆もあつたので，歴代R.I会長の指針のうち，１９６１〜６２年度以降のものについては，再度研究討議の材料としたい。

付　記 ―― １９１１年ロータリーの創始者ポール.ハリスは「ロータリーは巨大にして強力な機構である。もし，誤つた方向に進むならば，時の流れをせきとめ，全人類をおびやかすものとなるであろう。しかしまた，正しい方向に導びかれるならば，それは人間味ゆたかな機構となるでありましょう。」と述べた。

なるほど，今では，１２５カ国，１１,７００の地域社会に於て，５５万名の会員が毎週規則正しく会合し，「奉仕の理想」という確固たる共通の目的のために実動している。

しかしながら，宇宙時代に入つた現在の世界情勢からして，地域社会やR，Cが直面している解決の問題は山ほどある。

これに対応して，R．Iの施政の指針も１９６１年以来，大きく変りつつあるように見受けられるので，これをしつかりと把握したい。

会報・雑誌委員会報告

委員長　久保田　彦　穂
委　員　川　村　　洋
〃　　林　　幸　光

基本方針

1. クラブ各員の出席向上
2. クラブ各員の親睦
3. クラブ活動の活潑化を促す

以上の三点に重点を置く週報を発行する。

業　績

毎週の週報発行を通じて

1. クラブ各員の出席の向上
2. クラブの委員会の活動状況を各員に理解して貰う

以上の点にいささか役立つたことと思う。

計　画

1. 基本方針をもつと徹底させて，クラブをより活気あるものにすること。
2. 創立5周年記念特集の会報を発行

S・A・A報告

S・A・A　高　田　光　義
副S・A・A　伊　東　則　生

基本方針

当クラブの例会は，何時でも極めて和やかな雰囲気で進められて来て居り，加うるに来訪ロータリアンの数も非常に多い。従つて，今後ともに会員相互の連繋を密にすることによつて，このよい気風をより一層助長して行きたい。

業　績

1. 現在までのところ，例会を早退する会員は殆どない。
2. 親睦委員会と連絡を密にして，会員によろこびあれば例会の席上で発表して，会員全体の慶びとして頒ち，会員相互の親近親睦の一助にし，ニコニコボックスの資金源を潤すことについて，先般開催された一連のファイヤサイドミーチングで諒承をいただいた。

計　画

例会の和やかな雰囲気は，会場に足を踏み入れる門口でのgreeting に始まる。S.A.Aは開会前，会員に先立つてここに待機して，会場の整理の監督に当る外に，この点に注意して会員の親睦のための例会場とすることに役立ちたい。

職業奉仕委員会報告

委員長	久	保	政	次
委　員	田	平	礼	章
〃	徳	田		基
〃	岩	元	健	吉

基本方針

ロータリーの最も特徴的な職業を通じての奉仕活動を徹底させる為，会員各自の職業意識を高め，其の社会性を深く認識させる事を基本的態度として活動を行う。

業　績

1. 職業奉仕活動の在り方について，ファイヤ　サイドミーチングで討議を行つた。
2. 特に新入会員に対し，職業奉仕についての話合いを行つた。

計　画

1. クラブの企画に合せ，近くフォーラムに於てケーススタデイ（事例研究）を実施する事となつて居る。
2. 優良職業人の表彰を行う為，目下候補を検討中である。
3. 研修としての事業場の視察を行いたい。
4. 加治木仮クラブに対する支援を積極的に進めたい。

社会奉仕委員会報告

委員長	佐	伯	延次郎
委　員	名	越	時　秀
〃	黒	木	長太郎

基本方針

所属地域社会をよく知り，何が最も必要に迫られているかを発見し，当クラブがこれに関係する可能性を検討して，やれば出来ることから実行していくことによつて，地域社会の改善向

上のために奉仕したい。尚この際，それぞれの分野に関係ある諸団体との協力についても，じゆゆうぶん考慮すること。

業　績

1. 佐賀，長崎の水害に対し義援金を贈つた。

計　画

1. 身体不自由者のための施設（例えば整肢園，更生相談所，指導所等）に勤務する職員に対する激励と感謝。
2. 献本運動への協力。
3. 安全都市運動への協力。（防災，交通安全等）
4. 地域都市美化運動への協力。

青少年奉仕委員会報告

委員長　高　井　敏　治
委　員　幸　泉　芳　良
〃　　　堀　川　　　昇

基本方針

次の世代の根幹となる青少年に，ロータリーとして物心両面から出来る限りの援助をする。青少年に公共に奉仕する精神を培養したい。インターアクトクラブの発展をはかる。

業　績

1. 第370区第3回インターアクト連絡協議会のホストクラブとして，同協議会を8月18日，19日に開催した。
2. 訪韓インターアクトの一員に，鶴丸高校の村岡君を派遣した。
3. ワンダーフォーゲル運動に協力した。
4. 8月にインターアクトOBと現I.C員との懇談会を開いた。
5. 8月18日午前5時鶴丸I.Cの早起き会を行つた。

計　画

1. 夏休みに姉妹クラブの鶴岡I.Cの生徒を8月に招待するようとりきめたが，冬休みに延期実施する。
2. 明治100年を記念して，鹿児島市内3クラブ共同でスポーツ奨励その他のことを計画中である。

国際奉仕委員会報告

委員長　福　田　敏　之
委　員　浜　田　　　馨
〃　　　春　山　ジヤステン

基本方針

R．I会長の方針に従い，国際理解を深めるために定められたマツチクラブとの交流のみならず，広く世界社会への奉仕運動を推進して，ロータリーの世界連帯感を強め，これによつて国際親善の実を挙げたい。

業　績

1. 鹿児島三クラブ合同により，日米高校生２名を交換したが，受け入れのために交換学生受入委員会を設けて，毎月１回例会にゲストとして受入れている。
2. 韓国元ガバナー金永韶氏の御来訪の機会に歓迎懇談会を行なつた。
3. 鹿児島大学夏期講習会に出席のアメリカの教師を例会に招いて，卓話「日本の印象」を聞いた。
4. 中国留学生２名を観月家族会に招待し，親善を深めた。

計　画

1. 交換学生として滞在中のアメリカの学生２名を温かく扱つて受入れに万全を期する。今後も例会に招待して親善を図りたい。
2. 世界社会運動を積極的に推進するための具体的な方法を研究して，実施に移すように計画する。
3. 世界理解週間中，留学生を例会に招待，またクリスマスパーテイにはインターアクトと共に招待して，懇談の機会を設けることにしたい。
4. 鹿児島の風物，ロータリー活動の状況をカラースライドにおさめ，マツチクラブに送つて親善理解を深めたい。
5. 児童図をマツチクラブと交換したい。
6. ロータリー財団週間には応分の寄付をしたい。

附　　表

昭和 42 年度予算書

会　員　名　簿

職業分類一覧表（別　紙）

昭和42年度収支予算書

1967－7～1968－6

（収入の部）

費目	予算額	摘要
前年度繰越金	299,245	
年会費	2,000,000	20,000×50名×2期
雑誌代	66,000	660円×50名×2期
入会金	60,000	15,000円×4名
ロータリー財団寄付金（入会時）	14,400	3,600円×4名
ビジター会食費	323,400	350円×77名×12ヵ月
ニコニコ箱	100,000	
雑収入	38,000	預金利息，バッチ代，加治木クラブ結成経費負担金外
合計	2,901,045	

（支出の部）

	費目	予算額	摘要
事務局関係	人件費	410,000	事務員給料，夏期年末手当外
	通信費	45,000	切手，ハガキ，送金手数料，電話料
	事務用品費	15,000	事務用品一切
	印刷費	20,000	公式訪問報告書等印刷代
	厚生福利費	19,000	健康保険料　外
	旅費	10,000	諸車代
	図書費	7,000	新聞代　外
	借室料	72,000	6,000円×12ヵ月
	小計	598,000	
委員会関係	出席	24,000	表彰記念品代
	会員選考	1,000	
	職業分類	5,000	職業分類表印刷代

	費目	予算額	摘要
委員会関係	親睦	90,000	誕生祝，結婚祝，ビジター100番毎記念品，家族会補助，レクリエーション負担金外
	プログラム	25,000	卓話謝礼
	ローターリー情報	18,000	ガバナー月信120円×46名×2　ロータリー手帳100円×50　文献代等
	広報	15,000	報道関係招待
	会報・雑誌	81,000	会報・週報用紙代，ロータリーの友 660円×50名×2
	職業奉仕	15,000	優良職業人の表彰
	社会奉仕	60,000	合同奉仕負担金　ロータリー賞 外
	青少年奉仕	120,000	ワンダーフォーゲル負担金，インターアクト援助 外
	国際奉仕	75,000	交換学生分担金60,000円 万国博会場負担金50円×46名×2期　外
	拡大事業費	66,000	加治木クラブへの記念品代　旅費，日当等
	小計	595,000	
国際ローターリー関係	人頭分担金	99,360	1,080円×46名×2期
	ローターリー財団寄付金	16,920	360円×47名
	ローターリー財団寄付金（入会時）	14,400	3,600円×4名
	米山記念奨学寄付金	27,600	300円×46名×2期
	小計	158,280	
地区関係	地区大会	57,000	負担金1,000円×47名 参加拠金1,000円×10名
	地区協議会	50,000	登録料，旅費，宿泊費
	リーダーシップフォーラム	47,500	登録料，旅費，宿泊費
	地区資金	46,000	500円×46名×2期
	地区国際青少年資金	18,400	200円×46名×2期
	小計	218,900	
特別行事	5周年記念		予備費より
その他	会議費	57,500	会長幹事会登録料，理事会，アッセンブリー補助　外
	会食費	962,000	例会会食費

	費目	予算額	摘要
その他	雑費	30,000	前会長，幹事記念品代　外
	備品費	40,000	
	小計	1,089,500	
予備費		241,365	
合計		2,901,045	

基金特別負担金予算書

費目	予算額	摘要
前年度繰越金	114,883	
基金特別負担金	20,000	新会員４名の予定
雑収入	5,000	預金利息
合計	139,883	

会　員　名　簿

		氏　名	職業分類	勤　務　先			自　宅
1	A	安楽　慶一郎	焼酎製造	安楽酒造㈱	代表取締役	平之町130	高麗町615
2	E	衛藤　右三郎	建築設計	衛藤建築設計事務所	所長	西千石町3の16	宇宿町2536
3	F	福田　敏之	民間放送	㈱南日本放送	取締役 編成局長	高麗町17	草牟田町4195
4		藤安　辰造	味噌製造	藤安醸造㈱	取締役社長	住吉町6の15	住吉町6の20
5	H	林　幸光	洋楽	鹿児島短期大学	教授	永吉町450	西田町58の6
6		堀川　舜	生命保険	日本生命保険鹿支社	支社長	武町431 南国日本生命ビル内	上荒田町2070
7		浜田　繁	酒類販売	㈲浜田酒店	取締役社長	高麗町192	同左
8		春山　ジャステン	キリスト教(新教)	日本基督教団鹿地区	宣教師	上荒田町137	同左
9		服部　満江	農学研究	鹿児島大学農学部	教授	上荒田町1946	鴨池町1102の9
10	I	岩元　健吉	製綿	カクイわた㈱	取締役社長	郡元町927	郡元町1172
11		岩元　正二	繊維品販売	山形屋商事㈱	常務取締役	堀江町8	高麗町143
12		岩田　太一	和菓子製造	㈴明石屋菓子店	取締役社長	金生町3	西千石町129
13		伊東　則生	タクシー業	㈲丸信タクシー	取締役社長	清水町64	天保山町50
14	K	河井　時義	外科医	河井外科医院	院長	高麗町183	同左
15		川村　洋	百貨店	㈱山形屋	常務取締役	金生町3の1	下荒田町2247
16		川路　清高	医学教育	鹿児島大学医学部	教授	城山町7の82	新照院町154
17		黒木　長太郎	経済学教育	鹿児島経済大学	学長	下福元町8850	薬師町444
18		久保　政次	ゴム製品販売	㈱久保利商店	取締役社長	名山町1の4	下竜尾町77

		氏名	職業分類	勤務先			自宅
19		久保田 彦穂	文芸				長田町 146
20		倉園清市	信用金庫	鹿児島相互信用金庫	常務理事	泉町 18	下荒田町72
21		栗川久雄	高等学校	県立鶴丸高等学校	校長	薬師町 34	下荒田町 440
22		小山幸義	ホテル	㈱鹿児島ホテル鶴鳴館	取締役社長	城山町 5の30	同左
23		幸泉芳良	鉄鋼販売	幸泉交易㈱	専務取締役	泉町 3の7	伊敷町 63
24		神山光政	鉄道車輌修理	国鉄鹿児島工場	工場長	上荒田町 800	郡元町 24 唐湊国鉄宿舎
25	M	牧田健二	内科医	牧田医院	院長	下竜尾町 6	同左
26		町田久敬	外国為替銀行	㈱三井銀行鹿支店	支店長	金生町 5の1	薬師町 32
27		光安善雄	原木販売	光安木材㈱	専務取締役	栄町 11	下竜尾町85
28		光吉正昭	請負業	小牧建設㈱	常務取締役	西千石町 2の35	鴨池町 471
29	N	名越時秀	商業銀行（アデイショナル）	㈱鹿児島銀行武町支店	支店長	武町 429	永吉町 295
30	O	岡元健一郎	病院	鹿児島大学付属病院	泌尿科部長	城山町 8の3	城山町 7の13
31		岡山栄	会計士	岡山公認会計士事務所	所長	薬師町 53	同左
32	S	西郷隆永	相互銀行	㈱旭相互銀行	常務取締役	六日町 8	鴨池町 507
33		桜美四郎	シニア・アクチブ（瓦斯供給）	日本瓦斯㈱	相談役	武町 501	上之園町37
34		鮫島志芽太	新聞発行	㈱南日本新聞社	常務取締役	易居町 1の5	上荒田町 62
35		佐伯延次郎	短期大学	鹿児島県立短期大学	学長	下伊敷町 104	清水町 133
36		柴山一雄	歯科医	柴山歯科医院	院長	山下町 9の31	同左
37		島津忠丸	土木建築	新九州建設㈱	常務取締役	吉野町磯 9688	清水町 21
38		新福栄熊	自然科学	鹿児島経済大学	教授	下福元町 8850	玉里町 3465

		氏名	職業分類	勤務先			自宅
39	T	高井敏治	砂糖販売	(株)高井商店	専務取締役	汐見町 5	加治屋町 5の21
40		高田光義	石油販売	南国殖産(株)	常務取締役	武町431 南国日本生命ビル内	天保山町 88の3
41		田平礼章	整形外科医	田平整形外科病院	副院長	加治屋町 16の5	加治屋町 11の17
42		土橋英夫	産婦人科医	土橋病院	院長	西田町 10	西田町 12
43		塘一郎	工業教育	鹿児島大学工学部	教授	鴨池町 52	伊敷町 1の2 伊敷栄門住宅4号
44		飛岡俊夫	商業銀行	(株)鹿児島銀行	常務取締役	金生町 54	平之町 107
45		徳田基	公証人	鹿児島公証人役場	公証人	山下町 17の12	照国町 11の23
46	Y	米倉秀雄	公立病院	鹿児島市立病院	副院長	加治屋町 20の17	吉野町 9688